対象校No. 722　　学校コード F123310106577
注４　　注３

設置年度　令和　6年度

届出

計画の区分：　学部の学科の設置
注１

注2
椙山女学園大学　人間関係学部　人間共生学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人椙山女学園
令和７年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	課長・川井幸治（カチョウカワイユキハル）
電話番号	０５２-７８１－４３１７（直通）
（夜間）	０５２-７８１－４３１７（直通）
ｅ－mail	soumuka@sugiyama-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和７年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人間関係学部

＜人間共生学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人椙山女学園

（２）大　学　名

椙山女学園大学

（３）調査対象大学等の位置

〒４７０－０１３６　愛知県日進市竹の山３丁目２００５番地
（〒４６５－００９２　愛知県名古屋市千種区星が丘元町１７番３号）

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（スギヤマ　ヤスオ） 椙山　泰生 （令和４年４月）		
学　　長	（クロダ　ヨシヒコ） 黒田　由彦 （令和４年４月）		
学 部 長	（ヤマグチ　マサフミ） 山口　雅史 （令和３年４月）	（フジワラ　ナオコ） 藤原　直子 （令和7年４月）	
学科長等	（フジワラ　ナオコ） 藤原　直子 （令和６年４月）	（オグラ　ショウコ） 小倉　祥子 （令和7年４月）	

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和６年度に報告済の内容　→（６）
令和７年度に報告する内容　→（７）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和３年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和７年度までの５年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が６年を越え、様式に変更が必要な場合にはそれらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間関係学部 人間共生学科 学士 （人間共生学）	文学関係 社会学・社会福祉学関係	4 年	90 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	364 人	新規入学者を募集停止予定	【基礎となる学部等】人間関係学部人間関係学科（令和６年度から第１年次、令和８年度から第３年次学生募集停止）

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － （ － ） [－]	人	人 － （ － ） [－]	人	人 （ ） [ ]	人	人 （ ） [ ]	人	人 90 （ 0 ） [0]	人	人 90 （ 0 ） [0]	人		0.48倍	― 倍	
志願者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	126 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	157 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	―			
受験者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	109 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	145 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]				
合格者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	102 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	131 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]				
B 入学者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	40 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	48 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]				
入学定員超過率 B／A	－		－						0.44		0.53					

（注）・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度未時点の情報として記入してください。）
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。
該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。
春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「（５）－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４ 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	39 [－] (－)	－ [－] (－)	49 [－] (1)	－ [ ] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	[ ] ( )	[ ] ( )	－ [－] (－)	－ [－] (－)	39 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		[ ] ( )		[ ] ( )		39 [－] 0		88 [－] (1)		

(注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ [　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ (　) 内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和6年度	39 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	1 人	人	一身上の都合（1人）
令和7年度	88 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合　計		1 人		1 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の５月１日現在の数字を記入してください。　（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・修学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{40} = 2.5\%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{88} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜人間関係学部　人間共生学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通科目		人間論	1前	2			2		1			6
全学共通科目		小計(1科目)	－	2	0	0	2	0	1	0	0	6
教養教育科目	領域1 思想と表現	哲学	1後		2							1
		文学	1前後		2							2
		芸術	1前		2							2
		心理	1後		2							2
		言語	1前後		2							2
		人類学	1前		2							2
	領域2 歴史と社会	歴史	1前		2							2
		法	1後		2							2
		日本国憲法	1前		2							1
		経済	1前		2							1
		社会	1前		2							2
		地理	1前		2							2
		教育	1前		2		1					1
	領域3 自然と科学技術	物理の世界	1前後		2							2
		化学の世界	1後		2							1
		環境の科学	1前		2							1
		地球の科学	1前後		2							2
		生命の科学	1前後		2							1
	領域4 数理と情報	数理の世界	1前		2							1
		統計の世界	1前後		2							2
		コンピュータと情報Ⅰ	1前	2								3
		コンピュータと情報Ⅱ	1後		2							2
	領域5 言語とコミュニケーション	外国語（英語A）	1前	1					1			4
		外国語（英語B）	1後	1					1			4
		外国語（英語C）	2前	1					1			4
		外国語（英語D）	2後	1					1			4
		外国語（ドイツ語Ⅰ）	1前		1							2
		外国語（ドイツ語Ⅱ）	1後		1							2
		外国語（フランス語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（フランス語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（中国語Ⅰ）	1前		1							2
		外国語（中国語Ⅱ）	1後		1							2
		外国語（ポルトガル語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（ポルトガル語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（スペイン語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（スペイン語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（ハングルⅠ）	1前		1							1
		外国語（ハングルⅡ）	1後		1							2
	領域6 健康とスポーツ	健康とスポーツの理論	1前		2							8
		健康科学	1前		1							1
		スポーツ実習A	1前後	1			1					1
		スポーツ実習B	2前後	1			1					1
	領域7 トータルライフデザイン	ファーストイヤーゼミ	1前	1			5	2	2			
		ジェンダー論入門	1前後		2				1			1
		生活と防災	1前		2							13
		思考のスキル入門	1前後		2							2
		AI･データと社会	1後		2							8
		ワークキャリアデザイン	1前後		2							1
		ビジネススキル入門	2前後		1							3
		キャリア形成実習Ⅰ	2前後		1							1
		キャリア形成実習Ⅱ	2前後		2							1
	小計(51科目)		－	9	71	0	5	2	2	0	0	80
専門教育科目	学部共通科目	人間関係論A	1前	2			1					1
		人間関係論B	1後	2					1			1
		小計(2科目)	－	4	0	0	1	0	1	0	0	2
	学科共通科目	人間共生の諸相A	1後	2			1	1	1			
		人間共生の諸相B	2前	2			2	1				
		基礎演習A	2前	1			3	2	2			1
		基礎演習B	2後	1			3	2	2			1
		小計(4科目)	－	6	0	0	4	2	2	0	0	1

【令和7年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通科目		人間論	1前	2			3	1				5
全学共通科目		小計(1科目)	－	2	0	0	3	1				5
教養教育科目	領域1 思想と表現	哲学	1後		2							1
		文学	1前後		2							2
		芸術	1前		2							2
		心理	1後		2							2
		言語	1前後		2							2
		人類学	1前		2							2
	領域2 歴史と社会	歴史	1前		2							2
		法	1後		2							2
		日本国憲法	1前		2							1
		経済	1前		2							1
		社会	1前		2		1					1
		地理	1前		2							2
		教育	1前		2							2
	領域3 自然と科学技術	物理の世界	1前後		2							2
		化学の世界	1後		2							1
		環境の科学	1前		2							1
		地球の科学	1前後		2							2
		生命の科学	1前後		2							2
	領域4 数理と情報	数理の世界	1前		2							1
		統計の世界	1前後		2							2
		コンピュータと情報Ⅰ	1前	2								3
		コンピュータと情報Ⅱ	1後		2							2
	領域5 言語とコミュニケーション	外国語（英語A）	1前	1					1			3
		外国語（英語B）	1後	1					1			3
		外国語（英語C）	2前	1					1			3
		外国語（英語D）	2後	1					1			3
		外国語（ドイツ語Ⅰ）	1前		1							2
		外国語（ドイツ語Ⅱ）	1後		1							2
		外国語（フランス語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（フランス語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（中国語Ⅰ）	1前		1							2
		外国語（中国語Ⅱ）	1後		1							2
		外国語（ポルトガル語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（ポルトガル語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（スペイン語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（スペイン語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（ハングルⅠ）	1前		1							1
		外国語（ハングルⅡ）	1後		1							2
	領域6 健康とスポーツ	健康とスポーツの理論	1前		2							8
		健康科学	1前		1							1
		スポーツ実習A	1前後	1			1					1
		スポーツ実習B	2前後	1			1					1
	領域7 トータルライフデザイン	ファーストイヤーゼミ	1前	1			5	3	1			
		ジェンダー論入門	1前後		2			1				1
		生活と防災	1前		2							13
		思考のスキル入門	1前後		2							2
		AI･データと社会	1後		2							8
		ワークキャリアデザイン	1前後		2							1
		ビジネススキル入門	2前後		2							3
		キャリア形成実習Ⅰ	2前後		1							1
		キャリア形成実習Ⅱ	2前後		1							1
	小計(51科目)		－	9	71	0	5	3	1	0	0	81
	学部共通科目	人間関係論A	1前	2			1					1
		人間関係論B	1後	2					1			1
		小計(2科目)	－	4	0	0	1	0	1	0	0	2
	学科共通科目	人間共生の諸相A	1後	2			1	1	1			
		人間共生の諸相B	2前	2			2	1				
		基礎演習A	2前	1			4	3	1			
		基礎演習B	2後	1			4	3	1			
		小計(4科目)	－	6	0	0	5	3	1	0	0	0

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	学科専門科目	ジェンダー・女性学科目群	女性学・男性学	1後		2				1			
			ライフスタイル論	1後		2							1
			女性とライフステージ	2前		2							1
			女性と社会A	1後		2							1
			女性と社会B	2前		2							1
			女性政策論	3前		2				1			
			家族社会論	2前		2				1			
			女性と職業生活A	2後		2		1					
			女性と職業生活B	3前		2		1					
			産業と女性労働	2後		2		1					
			組織と人間	2前		2		1					
			ジェンダー・セクシュアリティ論A	1前		2		1					
			ジェンダー・セクシュアリティ論B	1後		2		1					
			教育とジェンダー	2後		2		1					
			福祉とジェンダー	2前		2				1			
			法とジェンダー	2後		2							1
			政治とジェンダー	2前		2				1			
			国際社会とジェンダー	2前		2				1			
			スポーツとジェンダー	1前		2		1					
			女性と生涯スポーツ	2後		2		1					
			文化メディアとジェンダー	2前		2							1
		社会福祉学科目群	社会福祉論A	1前		2				1			
			社会福祉論B	1後		2				1			
			福祉コミュニティ論	2後		2							1
			社会保障論A	2前		2							1
			社会保障論B	2後		2							1
			貧困に対する支援	2前		2							1
			福祉サービスの組織と経営	2後		2		1					1
			子ども・家庭福祉論	1前		2		1					
			高齢者福祉論	1前		2							1
			障害者福祉論	2前		2		1					
			ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2					1		
			ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2					1		
			ソーシャルワークの基礎	1後		2		1					
			ソーシャルワークⅠ	2前		2		1					
			ソーシャルワークⅡ	2後		2		1					
			ソーシャルワークⅢ	3前		2		1					
			権利擁護を支える法制度	3前		2							1
			司法福祉論	3前		2		1					
			保健医療	1前		2							1
		人間学科目群	人間形成の歴史	1後		2		1					
			現代子育て論	1後		2							1
			青少年論	2前		2			1				
			現代教育論	2後		2			1				
			学校と社会	3前		2							1
			非行問題	3前		2			1				
			生涯学習論	2前		2							1
			身体・スポーツ文化論	2前		2		1					
			地域社会論	2前		2							1
			社会学概論	1後		2							1
			文化人類学	1前		2			1				
			エスニシティ論	1後		2			1				
			人間の歴史	2後		2							1
			人間環境論	2前		2							1
			地球環境と人間	3後		2							1
			フィールドワーク論	2前		2			1				
			社会調査論	2後		2			1				
			小計(57科目)		0	114	0	6	2	3	1	0	17
	学科展開科目		生命科学と人間	2前		2							1
			生命倫理学	1前		2							1
			臨床哲学	2後		2							1
			進化心理学	2後		2							1
			心理学総論	1後		2							1
			乳幼児・児童心理学	1後		2							1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	学科専門科目	ジェンダー・女性学科目群	女性学・男性学	1後		2			1				
			ライフスタイル論	1後		2		1					
			女性とライフステージ	2前		2		1					
			女性と社会A	1後		2		1					
			女性と社会B	2前		2		1					
			女性政策論	3前		2			1				
			家族社会論	2前		2			1				
			女性と職業生活A	2後		2		1					
			女性と職業生活B	3前		2		1					
			産業と女性労働	2後		2		1					
			組織と人間	2前		2		1					
			ジェンダー・セクシュアリティ論A	1前		2		1					
			ジェンダー・セクシュアリティ論B	1後		2		1					
			教育とジェンダー	2後		2		1					
			福祉とジェンダー	2前		2				1			
			法とジェンダー	2後		2							1
			政治とジェンダー	2前		2			1				
			国際社会とジェンダー	2前		2				1			
			スポーツとジェンダー	1前		2		1					
			女性と生涯スポーツ	2後		2		1					
			文化メディアとジェンダー	2前		2							1
		社会福祉学科目群	社会福祉論A	1前		2				1			
			社会福祉論B	1後		2				1			
			福祉コミュニティ論	2後		2							1
			社会保障論A	2前		2							1
			社会保障論B	2後		2							1
			貧困に対する支援	2前		2							1
			福祉サービスの組織と経営	2後		2		1					1
			子ども・家庭福祉論	1前		2		1					
			高齢者福祉論	1前		2							1
			障害者福祉論	2前		2		1					
			ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2					1		
			ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2					1		
			ソーシャルワークの基礎	1後		2		1					
			ソーシャルワークⅠ	2前		2		1					
			ソーシャルワークⅡ	2後		2		1					
			ソーシャルワークⅢ	3前		2		1					
			権利擁護を支える法制度	3前		2							1
			司法福祉論	3前		2		1					
			保健医療	1前		2							1
		人間学科目群	人間形成の歴史	1後		2		1					
			現代子育て論	1後		2							1
			青少年論	2前		2			1				
			現代教育論	2後		2			1				
			学校と社会	3前		2							1
			非行問題	3前		2			1				
			生涯学習論	2前		2							1
			身体・スポーツ文化論	2前		2		1					
			地域社会論	2前		2							1
			社会学概論	1後		2							1
			文化人類学	1前		2			1				
			エスニシティ論	1後		2			1				
			人間の歴史	2後		2							1
			人間環境論	2前		2							1
			地球環境と人間	3後		2							1
			フィールドワーク論	2前		2			1				
			社会調査論	2後		2			1				
			小計(57科目)		0	114	0	7	3	2	1	0	17
	学科展開科目		生命科学と人間	2前		2							1
			生命倫理学	1前		2							1
			臨床哲学	2後		2							1
			進化心理学	2後		2							1
			心理学総論	1後		2							1
			乳幼児・児童心理学	1後		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	学科展開科目	遊びの心理学	2後		2							1
		乳幼児保育論	2前		2							1
		子どもの認知・行動	2前		2							1
		親子関係の心理学	2前		2							1
		発達心理学	1後		2							1
		青年心理学	2前		2							1
		成人心理学	2前		2							1
		人体の構造と機能及び疾病	1前		2							1
		健康・医療心理学	2後		2							1
		教育・学校心理学	2前		2							1
		福祉心理学	2後		2							1
		障害者・障害児心理学	2後		2							1
		知覚・認知心理学	1前		2							1
		日常認知の心理学	2後		2							1
		学習・言語心理学	1後		2							1
		産業・組織心理学	2後		2							1
		社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学）	1後		2							1
		社会・集団・家族心理学B（家族心理学）	2後		2							1
		対人関係の心理学	2前		2							1
		小計（25科目）	－	0	50	0	0	0	0	0	0	15
	関連科目	情報科学と人間A	2後		2							1
		情報科学と人間B	2後		2							1
		日本史A	1前		2							1
		日本史B	1後		2							1
		外国史A	1前		2							1
		外国史B	1後		2							1
		地理学概論	1前		2							1
		地誌	1後		2							1
		法律学（国際法を含む。）	1後		2							1
		教職論	1前		2		1					
		生徒指導と進路指導	1後		2							1
		カリキュラム論	2後		2							1
		教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）	2後		2							1
		教育相談	3後		2							1
		発達と学習	1後		2							1
		博物館概論	1前		2							1
		博物館経営論	2後		2							1
		博物館資料論	2後		2							1
		博物館資料保存論	2前		2							1
		博物館展示論	2後		2							1
		博物館教育論	2後		2							1
		博物館情報・メディア論	2前		2							1
		小計（22科目）	－	0	44	0	1					14
	演習実習科目	海外演習A	1前		2				1			
		海外演習B	1後		2				1			
		ケースメソッド	3前後	1			5	2	2			1
		演習	3前後	1			2	2	3			1
		小計（4科目）	－	2	4	0	5	2	3	0	0	1
	卒論事前ゼミ		3後	1			6	2	3			1
	小計（1科目）		－	1			6	2	3	0	0	1
	卒業論文		4通	8			6	2	3			1
	小計（1科目）		－	8			6	2	3	0	0	
合計（168科目）			－	32	283	0	6	2	3	1	0	122

卒業要件及び履修方法

全学共通科目「人間論」2単位、教養教育科目「領域1～7」27単位、専門教育科目「学部共通科目」4単位、「学科共通科目」6単位、「学科専門科目」34単位、「演習実習科目」4単位、卒論事前ゼミ1単位、卒業論文8単位を必須とし、126単位以上修得すること。また、学科専門科目「ジェンダー・女性学科目群」「社会福祉学科目群」「人間学科目群」の一つ以上で20単位以上を修得し、かつ演習実習科目「ケースメソッド」「演習」の関連する科目を2単位以上を修得し、一つ以上のモジュール履修をする必要がある。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	学科展開科目	遊びの心理学	2後		2							1
		乳幼児保育論	2前		2							1
		子どもの認知・行動	2前		2							1
		親子関係の心理学	2前		2							1
		発達心理学	1後		2							1
		青年心理学	2前		2							1
		成人心理学	2前		2							1
		人体の構造と機能及び疾病	1前		2							1
		健康・医療心理学	2後		2							1
		教育・学校心理学	2前		2							1
		福祉心理学	2後		2							1
		障害者・障害児心理学	2後		2							1
		知覚・認知心理学	1前		2							1
		日常認知の心理学	2後		2							1
		学習・言語心理学	1後		2							1
		産業・組織心理学	2後		2							1
		社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学）	1後		2							1
		社会・集団・家族心理学B（家族心理学）	2後		2							1
		対人関係の心理学	2前		2							1
		小計（25科目）	－	0	50	0	0	0	0	0	0	15
	関連科目	情報科学と人間A	2後		2							1
		情報科学と人間B	2後		2							1
		日本史A	1前		2							1
		日本史B	1後		2							1
		外国史A	1前		2							1
		外国史B	1後		2							1
		地理学概論	1前		2							1
		地誌	1後		2							1
		法律学（国際法を含む。）	1後		2							1
		教職論	1前		2							1
		生徒指導と進路指導	1後		2							1
		カリキュラム論	2後		2							1
		教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）	2後		2							1
		教育相談	3後		2							1
		発達と学習	1後		2							1
		博物館概論	1前		2							1
		博物館経営論	2後		2							1
		博物館資料論	2後		2							1
		博物館資料保存論	2前		2							1
		博物館展示論	2後		2							1
		博物館教育論	2後		2							1
		博物館情報・メディア論	2前		2							1
		小計（22科目）	－	0	44	0						15
	演習実習科目	海外演習A	1前		2				1			
		海外演習B	1後		2				1			
		ケースメソッド	3前後	1			5	3	1			1
		演習	3前後	1			2	3	2			1
		小計（4科目）	－	2	4	0	5	3	2	0	0	1
	卒論事前ゼミ		3後	1			5	3	2	0	0	1
	小計（1科目）		－	1			6	3	2			1
	卒業論文		4通	8			6	3	2	0	0	1
	小計（1科目）		－	8			6	3	2			1
合計（168科目）			－	32	283	0	7	3	2	1	0	125

卒業要件及び履修方法

全学共通科目「人間論」2単位、教養教育科目「領域1～7」27単位、専門教育科目「学部共通科目」4単位、「学科共通科目」6単位、「学科専門科目」34単位、「演習実習科目」4単位、卒論事前ゼミ1単位、卒業論文8単位を必須とし、126単位以上修得すること。また、学科専門科目「ジェンダー・女性学科目群」「社会福祉学科目群」「人間学科目群」の一つ以上で20単位以上を修得し、かつ演習実習科目「ケースメソッド」「演習」の関連する科目を2単位以上を修得し、一つ以上のモジュール履修をする必要がある。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

【令和6年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
全学共通科目		人間論	1前	2			4		0			5
		小計(1科目)	－	2	0	0	4	0	0	0	0	5
教養教育科目	領域1 思想と表現	哲学	1後		2							1
		文学	1前後		2							2
		芸術	1前		2							2
		心理	1後		2							2
		言語	1前後		2							2
		人類学	1前		2							2
	領域2 歴史と社会	歴史	1前		2							2
		法	1後		2							2
		日本国憲法	1前		2							1
		経済	1前		2							1
		社会	1前		2		1					1
		地理	1前		2							2
		教育	1前		2		1					1
	領域3 自然と科学技術	物理の世界	1前後		2							2
		化学の世界	1後		2							1
		環境の科学	1前		2							1
		地球の科学	1前後		2							2
		生命の科学	1前後		2							2
	領域4 数理と情報	数理の世界	1前		2							1
		統計の世界	1前後		2							2
		コンピュータと情報Ⅰ	1前	2								3
		コンピュータと情報Ⅱ	1後		2							2
	領域5 言語とコミュニケーション	外国語（英語A）	1前	1					1			3
		外国語（英語B）	1後	1					1			3
		外国語（英語C）	2前	1					1			3
		外国語（英語D）	2後	1					1			3
		外国語（ドイツ語Ⅰ）	1前		1							2
		外国語（ドイツ語Ⅱ）	1後		1							2
		外国語（フランス語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（フランス語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（中国語Ⅰ）	1前		1							2
		外国語（中国語Ⅱ）	1後		1							2
		外国語（ポルトガル語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（ポルトガル語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（スペイン語Ⅰ）	1前		1							1
		外国語（スペイン語Ⅱ）	1後		1							1
		外国語（ハングルⅠ）	1前		1							1
		外国語（ハングルⅡ）	1後		1							2
	領域6 健康とスポーツ	健康とスポーツの理論	1前		2							8
		健康科学	1前		1							1
		スポーツ実習A	1前後	1			1					1
		スポーツ実習B	2前後	1			1					1
	領域7 トータルライフデザイン	ファーストイヤーゼミ	1前	1			5	3	1			
		ジェンダー論入門	1前後		2			1				1
		生活と防災	1前		2							13
		思考のスキル入門	1前後		2							2
		AI･データと社会	1後		2							8
		ワークキャリアデザイン	1前後		2							1
		ビジネススキル入門	2前後		2							3
		キャリア形成実習Ⅰ	2前後		1							1
		キャリア形成実習Ⅱ	2前後		1							1
	小計(51科目)		－	9	71	0	5	3	1	0	0	80
	学部共通科目	人間関係論A	1前	2			1					1
		人間関係論B	1後	2					1			1
		小計(2科目)	－	4	0	0	1	0	1	0	0	2
	学科共通科目	人間共生の諸相A	1後	2			1	1	1			
		人間共生の諸相B	2前	2			2	1				
		基礎演習A	2前	1			3	3	1			1
		基礎演習B	2後	1			3	3	1			1
		小計(4科目)	－	6	0	0	4	3	1	0	0	1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	学科専門科目	ジェンダー・女性学科目群	女性学・男性学	1後		2			1				
			ライフスタイル論	1後		2		1					
			女性とライフステージ	2前		2							1
			女性と社会A	1後		2		1					
			女性と社会B	2前		2							1
			女性政策論	3前		2			1				
			家族社会論	2前		2			1				
			女性と職業生活A	2後		2		1					
			女性と職業生活B	3前		2		1					
			産業と女性労働	2後		2		1					
			組織と人間	2前		2		1					
			ジェンダー・セクシュアリティ論A	1前		2		1					
			ジェンダー・セクシュアリティ論B	1後		2		1					
			教育とジェンダー	2後		2		1					
			福祉とジェンダー	2前		2				1			
			法とジェンダー	2後		2							1
			政治とジェンダー	2前		2			1				
			国際社会とジェンダー	2前		2				1			
			スポーツとジェンダー	1前		2		1					
			女性と生涯スポーツ	2後		2		1					
			文化メディアとジェンダー	2前		2							1
		社会福祉学科目群	社会福祉論A	1前		2				1			
			社会福祉論B	1後		2				1			
			福祉コミュニティ論	2後		2							1
			社会保障論A	2前		2							1
			社会保障論B	2後		2							1
			貧困に対する支援	2前		2							1
			福祉サービスの組織と経営	2後		2		1					1
			子ども・家庭福祉論	1前		2		1					
			高齢者福祉論	1前		2							1
			障害者福祉論	2前		2		1					
			ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2					1		
			ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2					1		
			ソーシャルワークの基礎	1後		2		1					
			ソーシャルワークⅠ	2前		2		1					
			ソーシャルワークⅡ	2後		2		1					
			ソーシャルワークⅢ	3前		2		1					
			権利擁護を支える法制度	3前		2							1
			司法福祉論	3前		2		1					
			保健医療	1前		2							1
		人間学科目群	人間形成の歴史	1後		2		1					
			現代子育て論	1後		2							1
			青少年論	2前		2			1				
			現代教育論	2後		2			1				
			学校と社会	3前		2							1
			非行問題	3前		2			1				
			生涯学習論	2前		2							1
			身体・スポーツ文化論	2前		2		1					
			地域社会論	2前		2							1
			社会学概論	1後		2							1
			文化人類学	1前		2			1				
			エスニシティ論	1後		2			1				
			人間の歴史	2後		2							1
			人間環境論	2前		2							1
			地球環境と人間	3後		2							1
			フィールドワーク論	2前		2			1				
			社会調査論	2後		2			1				
			小計（57科目）		0	114	0	7	3	2	1	0	17
	学科展開科目		生命科学と人間	2前		2							1
			生命倫理学	1前		2							1
			臨床哲学	2後		2							1
			進化心理学	2後		2							1
			心理学総論	1後		2							1
			乳幼児・児童心理学	1後		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	学科展開科目	遊びの心理学	2後		2							1
		乳幼児保育論	2前		2							1
		子どもの認知・行動	2前		2							1
		親子関係の心理学	2前		2							1
		発達心理学	1後		2							1
		青年心理学	2前		2							1
		成人心理学	2前		2							1
		人体の構造と機能及び疾病	1前		2							1
		健康・医療心理学	2後		2							1
		教育・学校心理学	2前		2							1
		福祉心理学	2後		2							1
		障害者・障害児心理学	2後		2							1
		知覚・認知心理学	1前		2							1
		日常認知の心理学	2後		2							1
		学習・言語心理学	1後		2							1
		産業・組織心理学	2後		2							1
		社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学）	1後		2							1
		社会・集団・家族心理学B（家族心理学）	2後		2							1
		対人関係の心理学	2前		2							1
		小計（25科目）	－	0	50	0	0	0	0	0	0	15
	関連科目	情報科学と人間A	2後		2							1
		情報科学と人間B	2後		2							1
		日本史A	1前		2							1
		日本史B	1後		2							1
		外国史A	1前		2							1
		外国史B	1後		2							1
		地理学概論	1前		2							1
		地誌	1後		2							1
		法律学（国際法を含む。）	1後		2							1
		教職論	1前		2							1
		生徒指導と進路指導	1後		2							1
		カリキュラム論	2後		2							1
		教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）	2後		2							1
		教育相談	3後		2							1
		発達と学習	1後		2							1
		博物館概論	1前		2							1
		博物館経営論	2後		2							1
		博物館資料論	2後		2							1
		博物館資料保存論	2前		2							1
		博物館展示論	2後		2							1
		博物館教育論	2後		2							1
		博物館情報・メディア論	2前		2							1
		小計（22科目）	－	0	44	0						15
	演習実習科目	海外演習A	1前		2				1			
		海外演習B	1後		2				1			
		ケースメソッド	3前後	1			5	3	1			1
		演習	3前後	1			2	3	2			1
		小計（4科目）	－	2	4	0	5	3	2	0	0	1
	卒論事前ゼミ		3後	1			6	3	2			1
	小計（1科目）		－	1			6	3	2	0	0	1
	卒業論文		4通	8			6	3	2			1
	小計（1科目）		－	8			6	3	2	0	0	
合計（168科目）			－	32	283	0	7	3	2	1	0	124

卒業要件及び履修方法

全学共通科目「人間論」2単位、教養教育科目「領域1～7」27単位、専門教育科目「学部共通科目」4単位、「学科共通科目」6単位、「学科専門科目」34単位、「演習実習科目」4単位、卒論事前ゼミ1単位、卒業論文8単位を必須とし、126単位以上修得すること。また、学科専門科目「ジェンダー・女性学科目群」「社会福祉学科目群」「人間学科目群」の一つ以上で20単位以上を修得し、かつ演習実習科目「ケースメソッド」「演習」の関連する科目を2単位以上を修得し、一つ以上のモジュール履修をする必要がある。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・担当者の変更等の事由により、「人間論」の配置を「教授４、准教授０、兼担５」に変更
・専任教員の昇任（講師→准教授）により、「ファーストイヤーゼミ」「ジェンダー論入門」「基礎演習Ａ」「基礎演習Ｂ」「女性学・男性学」「女性政策論」「家族社会論」「政治とジェンダー」「ケースメソッド」「演習」「卒論事前ゼミ」「卒業論文」の配置数を変更
・担当教員の校務都合により、「生命の科学」の担当者数変更（兼担１→兼担・兼務２）
・担当教員の都合により、「外国語(英語Ａ)」「外国語（英語Ｂ）」「外国語(英語Ｃ)」「外国語（英語Ｄ）」の担当数者数の変更（兼任４→兼任３）
・教職課程認定申請の都合により「教職論」の配置を変更（専→兼任・兼担）
・届出時の誤記の修正、「ビジネススキル入門」「キャリア形成実習Ⅱ」の単位数、「卒論事前ゼミ」の内訳
・開設年度は専任であり完成年度に兼務となる教員の担当授業科目について、令和６年度時点の配置状況に整理した（兼任・兼担→教授）
「社会」「ライフスタイル論」「女性と社会Ａ」

【令和7年度】

・担当者の変更等の事由により、「人間論」の配置を「教授３、准教授１、兼担５」に変更
・担当教員の校務都合により、「教育」の担当者数変更（専任１→兼任1）
・開設年度は専任であり完成年度に兼務となる教員の担当授業科目について、令和６年度時点の配置状況に整理した（兼任・兼担→教授）
「社会」「基礎演習Ａ」「ライフスタイル論」「女性とライフステージ」「女性と社会Ａ」「女性と社会Ｂ」

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和４年度開設であれば令和３年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
19 科目	149 科目	0 科目	168 科目	19 科目 ［０］	149 科目 ［０］	0 科目 ［０］	168 科目 ［０］	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、
学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{168} = \boxed{0}\ \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
	校舎敷地	65,407.76㎡	0㎡	0㎡	65,407.76㎡	
	運動場用地	44,454.00㎡	0㎡	0㎡	44,454.00㎡	
	小計	109,861.76㎡	0㎡	0㎡	109,861.76㎡	
	その他	8,177.24㎡	0㎡	0㎡	8,177.24㎡	
	合計	118,039.00㎡	0㎡	0㎡	118,039.00㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
		75,404.34㎡ ~~73,386.62㎡~~ (73,386.62㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	75,404.34㎡ ~~73,386.62㎡~~ (73,386.62㎡)	一部附属施設の用途変更（講義室化）等に伴い校舎面積を修正（6）

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	14室	15室	3室	1室 （補助職員　1人）	0室 （補助職員　0人）	学部全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	人間関係学部人間共生学科	13室	学部全体

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	人間関係学部人間共生学科	~~465,700〔98,600〕~~ 458,100〔95,300〕 ~~(455,215〔95,063〕)~~ (450,152〔93,885〕)	~~2,640〔895〕~~ 2,560〔855〕 ~~(2,544〔850〕)~~ (2,542〔850〕)	~~40〔34〕~~ 38〔34〕 ~~(32〔29〕)~~ (19〔17〕)	~~21,000~~ 19,000 ~~(18,364)~~ (17,253)	~~6,560~~ ~~6,481~~ 6,466 ~~(6,560)~~ (6,432)	~~287~~ ~~262~~ 249 ~~(273)~~ (211)	直近4年間(2021～2024年度)の平均値を反映（7） 申請時以降の取得処分による変更（6）
	計	~~465,700〔98,600〕~~ 458,100〔95,300〕 ~~(455,215〔95,063〕)~~ (450,152〔93,885〕)	~~2,640〔895〕~~ 2,560〔855〕 ~~(2,544〔850〕)~~ (2,542〔850〕)	~~40〔34〕~~ 38〔34〕 ~~(32〔29〕)~~ (19〔17〕)	~~21,000~~ 19,000 ~~(18,364)~~ (17,253)	~~6,560~~ ~~6,481~~ 6,466 ~~(6,560)~~ (6,432)	~~287~~ ~~262~~ 249 ~~(273)~~ (211)	外国書電子ジャーナルの高騰により、契約数減となった(7)

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	4,071.40㎡	609席 ~~604席~~	403,489冊	大学全体

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	5,052.14㎡	テニスコート6面、ゴルフ練習場20打席 テニスコート・フットサル共用コート1面

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
教員１人当り研究費等	579千円	579千円	図書購入費	3,386千円	3,386千円	3,386千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
共同研究費等	1,071千円	1,071千円	設備購入費	18,260千円 ~~14,927千円~~	18,630千円 ~~18,847千円~~ ~~14,927千円~~	14,927千円	実績値に基づき変更(7)

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	備考
	1,287千円	1,087千円	1,087千円	1,087千円	千円	千円	実績値に基づき変更(6) 届出学部全体
学生納付金以外の維持方法の概要	入学検定料収入、特別寄付金収入、国庫補助金収入、資産運用収入、雑収入等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	相山女学園大学	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	6	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
生活科学部		257		1038	－	1.05	－	－		－	
管理栄養学科	4	120	0	480	学士（生活科学）	1.10	－	－	平成19	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	
生活環境デザイン学科	4	137	2年次2 3年次2	558	学士（生活科学）	1.01	－	－	平成15	同上	
国際コミュニケーション学部		0		460		0.65	－	－			
国際言語コミュニケーション学科	4	0	3年次10	250	学士（国際コミュニケーション学）	0.72	－	－	平成15	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	令和6年度1年次学生募集停止
表現文化学科	4	0	3年次10	210	学士（国際コミュニケーション学）	**0.56**	－	－	平成15	同上	令和6年度1年次学生募集停止
外国語学部		200		400		0.6	－				
英語英米学科	4	115		230	学士（英語英米学）	**0.66**	－	－	令和6	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	
国際教養学科	4	85		170	学士（国際教養学）	**0.51**	－	－	令和6	同上	
人間関係学部		200		836		0.74	－				
人間関係学科	4	0	3年次2	204	学士（人間関係学）	**0.62**	－	－	昭和62	愛知県日進市竹の山三丁目2005番地	令和6年度1年次学生募集停止
心理学科	4	110	2年次2 3年次3	452	学士（心理学）	0.90	－	－	平成14	同上	
人間共生学科	4	90		180	学士（人間共生学）	**0.48**	－	－	令和6	同上	
文化情報学部		0		448		0.85	－				
文化情報学科	4	0	3年次2	244	学士（文化情報学）	0.77	－	－	平成12	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	令和6年度1年次学生募集停止
メディア情報学科	4	0	3年次2	204	学士（メディア情報学）	0.95	－	－	平成23	同上	令和6年度1年次学生募集停止
情報社会学部		220		440		0.66	－				
情報デザイン学科	4	100		200	学士（情報学）	0.77	－	－	令和6	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	
現代社会学科	4	120		240	学士（社会学）	**0.57**	－	－	令和6	同上	
現代マネジメント学部		190		740							
現代マネジメント学科	4	190		740	学士（マネジメント）	1.09	－	－	平成15	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	令和6年度入学定員変更（180名→190名）
教育学部		170		692							
子ども発達学科	4	170	2年次2 3年次3	692	学士（教育学）	1.01	－	－	平成19	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	
看護学部		110		420							
看護学科	4	110		420	学士（看護学）	**1.17**	－	－	平成22	愛知県名古屋市千種区星が丘元町17番3号	令和6年度入学定員変更（100名→110名）
大学全体	4	1,347	2年次6 3年次34	5,474	－	0.90	－	－	－	－	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等
（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和８年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教員組織の状況

＜人間関係学部　人間共生学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大勝　志津穂 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（体育学）	スポーツ実習A スポーツ実習B ファーストイヤーゼミ スポーツとジェンダー 女性と生涯スポーツ 身体・スポーツ文化論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	小倉　祥子 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	人間論＊ ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相B＊ 基礎演習A 基礎演習B 女性と職業生活Ａ 女性と職業生活B 産業と女性労働 組織と人間 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	小榮住　まゆ子 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（臨床福祉学）	人間共生の諸相B＊ 基礎演習B ソーシャルワークの基礎 ソーシャルワークⅠ ソーシャルワークⅡ ソーシャルワークⅢ 子ども・家庭福祉論 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	手嶋　雅史 (59) ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	ファーストイヤーゼミ 人間関係論A＊ 福祉サービスの組織と経営＊ 障害者福祉論 司法福祉論 ケースメソッド 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	虎岩　朋加 (48) ＜令和6年4月＞ Ph.D. in Social Foundations	ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 人間形成の歴史 教育とジェンダー 教職論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	藤原　直子 (54) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論＊ 教育 ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相A＊ 基礎演習A 基礎演習B ジェンダー・セクシュアリティ論A ジェンダー・セクシュアリティ論B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	吉田　あけみ (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士	人間論＊ 社会 ビジネススキル入門 キャリア形成実習Ⅰ キャリア形成実習Ⅱ 基礎演習A 基礎演習B ライフスタイル論 女性とライフステージ 女性と社会Ａ 女性と社会B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大勝　志津穂 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（体育学）	**人間論＊** スポーツ実習A スポーツ実習B ファーストイヤーゼミ スポーツとジェンダー 女性と生涯スポーツ 身体・スポーツ文化論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	小倉　祥子 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	人間論＊ ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相B＊ 基礎演習A 基礎演習B 女性と職業生活Ａ 女性と職業生活B 産業と女性労働 組織と人間 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	小榮住　まゆ子 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（臨床福祉学）	人間共生の諸相B＊ 基礎演習B ソーシャルワークの基礎 ソーシャルワークⅠ ソーシャルワークⅡ ソーシャルワークⅢ 子ども・家庭福祉論 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	手嶋　雅史 (59) ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	ファーストイヤーゼミ 人間関係論A＊ 福祉サービスの組織と経営＊ 障害者福祉論 司法福祉論 ケースメソッド 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	虎岩　朋加 (48) ＜令和6年4月＞ Ph.D. in Social Foundations	ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 人間形成の歴史 教育とジェンダー ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	藤原　直子 (54) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論＊ **教育** ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相A＊ 基礎演習A 基礎演習B ジェンダー・セクシュアリティ論A ジェンダー・セクシュアリティ論B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	吉田　あけみ (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士	人間論＊ 社会 ビジネススキル入門 **キャリア形成実習Ⅰ** **キャリア形成実習Ⅱ** 基礎演習A **基礎演習B** ライフスタイル論 女性とライフステージ 女性と社会Ａ 女性と社会B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文

【令和７年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	大勝　志津穂 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（体育学）	スポーツ実習A スポーツ実習B ファーストイヤーゼミ スポーツとジェンダー 女性と生涯スポーツ 身体・スポーツ文化論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	小倉　祥子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	人間論＊ ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相B＊ 基礎演習A 基礎演習B 女性と職業生活Ａ 女性と職業生活B 産業と女性労働 組織と人間 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	小榮住　まゆ子 (46) ＜令和6年4月＞ 博士（臨床福祉学）	人間共生の諸相B＊ 基礎演習B ソーシャルワークの基礎 ソーシャルワークⅠ ソーシャルワークⅡ ソーシャルワークⅢ 子ども・家庭福祉論 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	手嶋　雅史 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	ファーストイヤーゼミ 人間関係論A＊ 福祉サービスの組織と経営＊ 障害者福祉論 司法福祉論 ケースメソッド 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	虎岩　朋加 (49) ＜令和6年4月＞ Ph.D. in Social Foundations	ファーストイヤーゼミ 基礎演習A **基礎演習B** 人間形成の歴史 教育とジェンダー ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	藤原　直子 (55) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論＊ ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相A＊ 基礎演習A 基礎演習B ジェンダー・セクシュアリティ論A ジェンダー・セクシュアリティ論B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	教授	吉田　あけみ (68) ＜令和6年4月＞ 文学修士	人間論＊ 社会 ビジネススキル入門 基礎演習A ライフスタイル論 女性とライフステージ 女性と社会Ａ 女性と社会B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文

【令和８年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

【令和９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼	客員教授	吉田　あけみ （70） ＜令和9年4月＞ 文学修士	人間論＊ 社会 ビジネススキル入門 キャリア形成実習Ⅰ キャリア形成実習Ⅱ 基礎演習A 基礎演習B ライフスタイル論 女性とライフステージ 女性と社会Ａ 女性と社会B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	准教授	佐川　佳之 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相A＊ 基礎演習A 基礎演習B 青少年論 非行問題 現代教育論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	准教授	松浦　直毅 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相B＊ 基礎演習A 基礎演習B 文化人類学 エスニシティ論 フィールドワーク論 社会調査論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	大木　直子 （46） ＜令和6年4月＞ 博士（社会科学）	人間論＊ ジェンダー論入門 ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 基礎演習B 女性学・男性学 女性政策論 家族社会論 政治とジェンダー ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	大木　龍之介 （34） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D） 人間関係論B＊ 国際社会とジェンダー ケースメソッド 演習 海外演習A 海外演習B 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	森川　和珠 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（社会福祉学）	人間共生の諸相A＊ ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 基礎演習B 社会福祉論A 社会福祉論B 福祉とジェンダー 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	助教	田村　禎章 （42） ＜令和6年4月＞	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ
兼担	教授	浅野　元志 （60） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能及び疾病 健康・医療心理学
兼担	教授	安立　奈歩 （50） ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間関係論B＊ 青年心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼	客員教授	吉田　あけみ （67） ＜令和9年4月＞ 文学修士	人間論＊ 社会 ビジネススキル入門 **キャリア形成実習Ⅰ** **キャリア形成実習Ⅱ** 基礎演習A **基礎演習B** ライフスタイル論 女性とライフステージ 女性と社会Ａ 女性と社会B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	准教授	佐川　佳之 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相A＊ 基礎演習A 基礎演習B 青少年論 非行問題 現代教育論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	准教授	松浦　直毅 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相B＊ 基礎演習A 基礎演習B 文化人類学 エスニシティ論 フィールドワーク論 社会調査論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	**准教授**	大木　直子 （46） ＜令和6年4月＞ 博士（社会科学）	ジェンダー論入門 ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 基礎演習B 女性学・男性学 女性政策論 家族社会論 政治とジェンダー ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	大木　龍之介 （34） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D） 人間関係論B＊ 国際社会とジェンダー ケースメソッド 演習 海外演習A 海外演習B 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	森川　和珠 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（社会福祉学）	人間共生の諸相A＊ ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 基礎演習B 社会福祉論A 社会福祉論B 福祉とジェンダー 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	助教	田村　禎章 （42） ＜令和6年4月＞	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ
兼担	教授	浅野　元志 （60） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能及び疾病 健康・医療心理学
兼担	教授	安立　奈歩 （50） ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間関係論B＊ 青年心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼	客員教授	吉田　あけみ （68） ＜令和9年4月＞ 文学修士	人間論＊ 社会 ビジネススキル入門 基礎演習A ライフスタイル論 女性とライフステージ 女性と社会Ａ 女性と社会B ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	准教授	佐川　佳之 （46） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相A＊ 基礎演習A 基礎演習B 青少年論 非行問題 現代教育論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	准教授	松浦　直毅 （46） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	ファーストイヤーゼミ 人間共生の諸相B＊ 基礎演習A 基礎演習B 文化人類学 エスニシティ論 フィールドワーク論 社会調査論 ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	**准教授**	大木　直子 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（社会科学）	**人間論＊** ジェンダー論入門 ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 基礎演習B 女性学・男性学 女性政策論 家族社会論 政治とジェンダー ケースメソッド 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	大木　龍之介 （35） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D） 人間関係論B＊ 国際社会とジェンダー ケースメソッド 演習 海外演習A 海外演習B 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	講師	森川　和珠 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（社会福祉学）	人間共生の諸相A＊ ファーストイヤーゼミ 基礎演習A 基礎演習B 社会福祉論A 社会福祉論B 福祉とジェンダー 演習 卒論事前ゼミ 卒業論文
専	**助教**	**山田　敏章** **（56）** **＜令和7年4月＞** **修士（人間発達学）**	**ソーシャルワーク論Ⅰ** **ソーシャルワーク論Ⅱ**
兼担	教授	浅野　元志 （61） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能及び疾病 健康・医療心理学
兼担	教授	安立　奈歩 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間関係論B＊ 青年心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	伊藤　信博 （68） ＜令和6年4月＞ 文学博士	歴史
兼担	教授	五百部　裕 （63） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	人類学 生命の科学 人間の歴史 地球環境と人間 人間環境論 生命科学と人間 進化心理学
兼担	教授	小澤　英二 （61） ＜令和6年4月＞ 教育学修士	スポーツ実習A スポーツ実習B
兼担	教授	影山　穂波 （55） ＜令和6年4月＞ 博士（社会科学）	地理
兼担	教授	加藤　容子 （48） ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	人間論※ 産業・組織心理学
兼担	教授	株本　千鶴 （55） ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	高齢者福祉論
兼担	教授	季　増民 （68） ＜令和6年4月＞ 理学博士	地理
兼担	教授	園井　修一 （69） ＜令和6年4月＞	健康科学
兼担	教授	小林　純子 （62） ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）※	健康とスポーツの理論※
兼担	教授	芝垣　亮介 （44） ＜令和6年4月＞ PhD in Linguistics （博士 言語学）	言語
兼担	教授	鈴木　亮子 （58） ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	福祉心理学 成人心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯塚　恵理人 （62） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	文学
兼担	教授	伊藤　信博 （68） ＜令和6年4月＞ 文学博士	歴史
兼担	教授	五百部　裕 （63） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	人間の歴史 地球環境と人間 人間環境論 生命科学と人間 進化心理学
兼担	教授	小澤　英二 （61） ＜令和6年4月＞ 教育学修士	スポーツ実習A スポーツ実習B
兼担	教授	影山　穂波 （55） ＜令和6年4月＞ 博士（社会科学）	地理
兼担	教授	加藤　容子 （48） ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	人間論※ 産業・組織心理学
兼担	教授	株本　千鶴 （55） ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	高齢者福祉論
兼担	教授	季　増民 （68） ＜令和6年4月＞ 理学博士	地理
兼担	教授	園井　修一 （69） ＜令和6年4月＞	健康科学
兼担	教授	小林　純子 （62） ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）※	健康とスポーツの理論※
兼担	教授	芝垣　亮介 （44） ＜令和6年4月＞ PhD in Linguistics （博士 言語学）	言語
兼担	教授	鈴木　亮子 （58） ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	福祉心理学 成人心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯塚　恵理人 （63） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	文学
兼担	教授	石原　由華 （59） ＜令和7年4月＞ 博士（医学）	健康とスポーツの理論※
兼担	教授	伊藤　信博 （69） ＜令和6年4月＞ 文学博士	歴史
兼担	教授	五百部　裕 （64） ＜令和7年4月＞ 博士（理学）	人間の歴史 地球環境と人間 生命科学と人間 進化心理学
兼担	教授	小澤　英二 （62） ＜令和6年4月＞ 教育学修士	スポーツ実習A スポーツ実習B
兼担	教授	影山　穂波 （56） ＜令和6年4月＞ 博士（社会科学）	地理
兼担	教授	加藤　容子 （49） ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	人間論※ 産業・組織心理学
兼担	教授	株本　千鶴 （56） ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	高齢者福祉論
兼担	教授	季　増民 （69） ＜令和6年4月＞ 理学博士	地理
兼担	教授	小林　純子 （63） ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）※	健康とスポーツの理論※
兼担	教授	佐藤　善人 （52） ＜令和7年4月＞ 博士（学校教育学）	健康科学
兼担	教授	芝垣　亮介 （45） ＜令和6年4月＞ PhD in Linguistics （博士 言語学）	言語
兼担	教授	鈴木　亮子 （59） ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	福祉心理学 成人心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	谷口　功 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（社会学）	地域社会論
兼担	教授	戸田（藤田）由紀子 (51) ＜令和6年4月＞	文学
兼担	教授	栃窪　優二 (69) ＜令和6年4月＞ 修士（情報科学）	生活と防災※
兼担	教授	鳥居　隆司 (63) ＜令和6年4月＞ 工学博士	AI・データと社会※
兼担	教授	長澤　唯史 (60) ＜令和6年4月＞ 文学修士	文学
兼担	教授	中西　由里 (69) ＜令和6年4月＞	発達心理学
兼担	教授	西出　弓枝 (57) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論※ 障害者・障害児心理学
兼担	教授	野崎　祐子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	経済 統計の世界
兼担	教授	羽成　隆司 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	心理
兼担	教授	早川　幸博 (61) ＜令和6年4月＞	健康とスポーツの理論※
兼担	教授	樋口　謙一郎 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（政治学）	外国語（ハングルⅡ）
兼担	教授	福田　誠司 (61) ＜令和6年4月＞ 医学博士　MD，PhD	健康とスポーツの理論※ 生命の科学
兼担	教授	藤岡　阿由未 (54) ＜令和6年4月＞ 文学修士※	芸術
兼担	教授	堀田　あけみ（小原　朱美） (59) ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	心理
兼担	教授	山口　雅史 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	人間論※ 現代子育て論 遊びの心理学 乳幼児保育論 親子関係の心理学
兼担	教授	山根　一郎 (67) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論※ 社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学） 対人関係の心理学 生活と防災※
兼担	教授	李　敏子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間論※ 社会・集団・家族心理学B（家族心理学） 生活と防災※
兼担	准教授	阿部　順子 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	谷口　功 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（社会学）	地域社会論
兼担	教授	栃窪　優二 (69) ＜令和6年4月＞ 修士（情報科学）	生活と防災※
兼担	教授	鳥居　隆司 (63) ＜令和6年4月＞ 工学博士	AI・データと社会※
兼担	教授	長澤　唯史 (60) ＜令和6年4月＞ 文学修士	文学
兼担	教授	中西　由里 (69) ＜令和6年4月＞	発達心理学
兼担	教授	西出　弓枝 (57) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論※ 障害者・障害児心理学
兼担	教授	野崎　祐子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	経済 統計の世界
兼担	教授	羽成　隆司 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	心理
兼担	教授	早川　幸博 (61) ＜令和6年4月＞	健康とスポーツの理論※
兼担	教授	樋口　謙一郎 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（政治学）	外国語（ハングルⅡ）
兼担	教授	福田　誠司 (61) ＜令和6年4月＞ 医学博士　MD，PhD	健康とスポーツの理論※ 生命の科学
兼担	教授	藤岡　阿由未 (54) ＜令和6年4月＞ 文学修士※	芸術
兼担	教授	堀田あけみ（小原　朱美） (59) ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	心理
兼担	教授	山口　雅史 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	人間論※ 現代子育て論 遊びの心理学 乳幼児保育論 親子関係の心理学
兼担	教授	山根　一郎 (67) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論※ 社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学） 対人関係の心理学 生活と防災※
兼担	教授	李　敏子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間論※ 社会・集団・家族心理学B（家族心理学） 生活と防災※
兼担	特命教授	廣瀬　帆曜 (70) ＜令和6年4月＞ 教育学士	教職論
兼担	准教授	阿部　順子 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	谷口　功 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（社会学）	地域社会論
兼担	特任教授	栃窪　優二 (70) ＜令和6年4月＞ 修士（情報科学）	生活と防災※
兼担	教授	鳥居　隆司 (64) ＜令和6年4月＞ 工学博士	AI・データと社会※
兼担	教授	長澤　唯史 (61) ＜令和6年4月＞ 文学修士	文学 キャリア形成実習Ⅰ キャリア形成実習Ⅱ
兼担	教授	西出　弓枝 (58) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論※ 障害者・障害児心理学
兼担	教授	野崎　祐子 (66) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	経済 統計の世界
兼担	教授	羽成　隆司 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	心理
兼担	教授	樋口　謙一郎 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（政治学）	外国語（ハングルⅡ）
兼担	教授	福田　誠司 (62) ＜令和6年4月＞ 医学博士　MD，PhD	健康とスポーツの理論※ 生命の科学
兼担	教授	藤岡　阿由未 (55) ＜令和6年4月＞ 文学修士※	芸術
兼担	教授	堀田　あけみ（小原　朱美） (60) ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	心理
兼担	教授	山口　雅史 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	人間論※ 現代子育て論 遊びの心理学 乳幼児保育論 親子関係の心理学
兼担	教授	山根　一郎 (68) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	人間論※ 社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学） 対人関係の心理学 生活と防災※
兼担	教授	李　敏子 (66) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	人間論※ 社会・集団・家族心理学B（家族心理学） 生活と防災※
兼担	特命教授	廣瀬　帆曜 (71) ＜令和6年4月＞ 教育学士	教職論
兼担	准教授	阿部　順子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	生田　美智子 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（看護学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	浦上　萌 (35) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	乳幼児・児童心理学 子どもの認知・行動
兼担	准教授	及川　佐枝子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	門屋　亨介 (52) ＜令和6年4月＞ 博士（バイオサイエンス）	生活と防災※
兼担	准教授	木田　勇輔 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	寺西　美佐絵 (64) ＜令和6年4月＞ 修士	生活と防災※
兼担	准教授	中嶋　文子 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	健康とスポーツの理論※ 生活と防災※
兼担	准教授	布井　雅人 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	知覚・認知心理学 日常認知の心理学
兼担	准教授	早瀬　光浩 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅱ AI・データと社会※
兼担	准教授	肥田　佳美 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（看護学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	舛田　亮太 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	教育・学校心理学
兼担	准教授	松山　智恵子 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	コンピュータと情報Ⅱ AI・データと社会※
兼担	准教授	三浦　隆宏 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	人間関係論A＊ 哲学 思考のスキル入門 生命倫理学 臨床哲学
兼担	准教授	宮下　十有 (50) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※	博物館情報・メディア論
兼担	准教授	向　直人 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	矢島　彩子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	吉本　明宣 (64) ＜令和6年4月＞ 理学修士※	数理の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	生田　美智子 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（看護学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	浦上　萌 (35) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	乳幼児・児童心理学 子どもの認知・行動
兼担	准教授	及川　佐枝子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	門屋　亨介 (52) ＜令和6年4月＞ 博士（バイオサイエンス）	生活と防災※
兼担	准教授	木田　勇輔 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	寺西　美佐絵 (64) ＜令和6年4月＞ 修士	生活と防災※
兼担	准教授	中嶋　文子 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	健康とスポーツの理論※ 生活と防災※
兼担	准教授	布井　雅人 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	知覚・認知心理学 日常認知の心理学
兼担	准教授	早瀬　光浩 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅱ AI・データと社会※
兼担	准教授	肥田　佳美 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（看護学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	舛田　亮太 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	教育・学校心理学
兼担	教授	松山　智恵子 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	コンピュータと情報Ⅱ AI・データと社会※
兼担	准教授	三浦　隆宏 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	人間関係論A＊ 哲学 思考のスキル入門 生命倫理学 臨床哲学
兼担	准教授	宮下　十有 (50) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※	博物館情報・メディア論
兼担	教授	向　直人 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	矢島　彩子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	吉本　明宣 (64) ＜令和6年4月＞ 理学修士※	数理の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	生田　美智子 (55) ＜令和6年4月＞ 修士（看護学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	浦上　萌 (36) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	乳幼児・児童心理学 子どもの認知・行動 発達と学習
兼担	准教授	及川　佐枝子 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	門屋　亨介 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（バイオサイエンス）	生活と防災※
兼任	講師	木田　勇輔 (40) ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	寺西　美佐絵 (65) ＜令和6年4月＞ 修士	生活と防災※
兼担	准教授	中嶋　文子 (66) ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	健康とスポーツの理論※ 生活と防災※
兼任	講師	布井　雅人 (40) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	AI・データと社会※ 日常認知の心理学
兼担	准教授	早瀬　光浩 (43) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅱ AI・データと社会※
兼担	准教授	林　和枝 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（総合政策）	健康とスポーツの理論※
兼担	准教授	舛田　亮太 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	教育・学校心理学
兼担	教授	松山　智恵子 (57) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	コンピュータと情報Ⅱ AI・データと社会※
兼担	准教授	三浦　隆宏 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	人間関係論A＊ 哲学 思考のスキル入門 生命倫理学 臨床哲学
兼担	准教授	宮坂　まみ (43) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	発達心理学
兼担	准教授	宮下　十有 (51) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※	博物館情報・メディア論
兼担	教授	向　直人 (46) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	矢島　彩子 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	AI・データと社会※
兼担	准教授	吉本　明宣 (65) ＜令和6年4月＞ 理学修士※	数理の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	塩澤　友樹 (38) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	AI・データと社会※
兼担	講師	清水　秀丸 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※
兼担	講師	福安　真奈 (37) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	AI・データと社会※
兼担	講師	古市　直樹 (39) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）
兼担	講師	山田　紀子 (51) ＜令和6年4月＞	健康とスポーツの理論※
兼担	助教	冨田　和子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（人間文化）	言語
兼任	講師	赤星　泰子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	赤見　理恵 (49) ＜令和7年4月＞	博物館経営論 博物館資料論
兼任	講師	綾部　六郎 (48) ＜令和7年4月＞ 修士（法学）	法とジェンダー
兼任	講師	飯盛　茂子 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（人間関係学）	保健医療
兼任	講師	石川　佳奈 (41) ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）	心理学総論
兼任	講師	石橋　康正 (39) ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	社会
兼任	講師	伊藤　喬治 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	カリキュラム論
兼任	講師	稲垣　知子 (52) ＜令和6年4月＞	日本史A 日本史B
兼任	講師	稲葉　直子 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（生活科学）	ビジネススキル入門※
兼任	講師	岩塚　さおり (62) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） M.A.in　Literature（米国）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	塩澤　友樹 (38) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	AI・データと社会※
兼担	講師	清水　秀丸 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※
兼担	講師	福安　真奈 (37) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	AI・データと社会※
兼担	講師	古市　直樹 (39) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）
兼担	講師	山田　紀子 (51) ＜令和6年4月＞	健康とスポーツの理論※
兼担	助教	冨田　和子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（人間文化）	言語
兼任	講師	赤星　泰子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B）
兼任	講師	赤見　理恵 (49) ＜令和7年4月＞	博物館経営論 博物館資料論
兼任	講師	天野　論 (45) ＜令和6年4月＞ 修士（人間文化）	ジェンダー論入門
兼任	講師	綾部　六郎 (48) ＜令和7年4月＞ 修士（法学）	法とジェンダー
兼任	講師	飯盛　茂子 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（人間関係学）	保健医療
兼任	講師	石川　佳奈 (41) ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）	心理学総論
兼任	講師	石橋　康正 (39) ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	社会
兼任	講師	伊藤　喬治 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	カリキュラム論
兼任	講師	稲葉　直子 (50) ＜令和7年4月＞ 学士（生活科学）	ビジネススキル入門※
兼任	講師	岩塚　さおり (62) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） M.A.in　Literature（米国）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	清水　秀丸 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※
兼担	講師	福安　真奈 (38) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	AI・データと社会※
兼担	講師	古市　直樹 (40) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）
兼担	講師	松崎そら (27) ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）	統計の世界
兼担	講師	三島　ひとみ (48) ＜令和7年4月＞ 博士（法学）	法
兼担	講師	山田　紀子 (52) ＜令和6年4月＞	健康とスポーツの理論※
兼任	講師	冨田　和子 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（人間文化）	言語
兼任	講師	赤星　泰子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	外国語（英語A） 外国語（英語B）
兼任	講師	赤見　理恵 (50) ＜令和7年4月＞	博物館経営論 博物館資料論
兼任	講師	天野　論 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（人間文化）	ジェンダー論入門
兼任	講師	綾部　六郎 (49) ＜令和7年4月＞ 修士（法学）	法とジェンダー
兼任	講師	井川　和道 (69) ＜令和7年4月＞ 教育学修士	教育
兼任	講師	飯盛　茂子 (63) ＜令和6年4月＞ 修士（人間関係学）	保健医療
兼任	講師	石川　佳奈 (42) ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）	心理学総論
兼任	講師	石橋　康正 (40) ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	社会
兼任	講師	伊藤　喬治 (43) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	カリキュラム論
兼任	講師	稲葉　直子 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（生活科学）	ビジネススキル入門※
兼任	講師	岩塚　さおり (63) ＜令和6年4月＞ 修士（文学） M.A.in　Literature（米国）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田　康弘 (37) ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	学校と社会
兼任	講師	浦野　　愛 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（社会福祉学）	生活と防災※
兼任	講師	榎本　雅記 (54) ＜令和6年4月＞	法
兼任	講師	岡田　公夫 (69) ＜令和6年4月＞ 高等専門学校卒	生活と防災※
兼任	講師	角谷　勝巳 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	社会保障論B
兼任	講師	兼松　篤子 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	コンピュータと情報Ⅰ 情報科学と人間A 情報科学と人間B
兼任	講師	上山　晶子 (57) ＜令和8年4月＞ 法学修士	権利擁護を支える法制度
兼任	講師	川上　雅也 (64) ＜令和7年4月＞ 学士（経済学） 学士（社会学）	福祉コミュニティ論
兼任	講師	川瀬　基弘 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	環境の科学
兼任	講師	河野　明日香 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	生涯学習論
兼任	講師	金　由那 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（ハングルⅡ）
兼任	講師	久保　禎子 (59) ＜令和7年4月＞	博物館展示論
兼任	講師	小久保　嘉紀 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）	歴史
兼任	講師	小島　一郎 (55) ＜令和7年4月＞ 文学士	社会保障論A
兼任	講師	小林　智 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	法律学（国際法を含む。）
兼任	講師	清水　克博 (67) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	生徒指導と進路指導
兼任	講師	徐　春陽 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（中国語Ⅰ） 外国語（中国語Ⅱ）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田　康弘 (37) ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	学校と社会
兼任	講師	浦野　　愛 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（社会福祉学）	生活と防災※
兼任	講師	榎本　雅記 (54) ＜令和6年4月＞	法
兼任	講師	岡田　公夫 (69) ＜令和6年4月＞ 高等専門学校卒	生活と防災※
兼任	講師	角谷　勝巳 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	社会保障論B
兼任	講師	兼松　篤子 (42) ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	コンピュータと情報Ⅰ 情報科学と人間A 情報科学と人間B
兼任	講師	上山　晶子 (57) ＜令和8年4月＞ 法学修士	権利擁護を支える法制度
兼任	講師	川上　雅也 (64) ＜令和7年4月＞ 学士（経済学） 学士（社会学）	福祉コミュニティ論
兼任	講師	川瀬　基弘 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	環境の科学
兼任	講師	河野　明日香 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	生涯学習論
兼任	講師	金　由那 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（ハングルⅡ）
兼任	講師	久保　禎子 (59) ＜令和7年4月＞	博物館展示論
兼任	講師	小久保　嘉紀 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）	歴史
兼任	講師	小島　一郎 (55) ＜令和7年4月＞ 文学士	社会保障論A
兼任	講師	小林　智 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	法律学（国際法を含む。）
兼任	講師	鄭　もえ (48) ＜令和6年4月＞ 理学博士	生命の科学
兼任	講師	清水　克博 (67) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	生徒指導と進路指導
兼任	講師	徐　春陽 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（中国語Ⅰ） 外国語（中国語Ⅱ）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	内田　康弘 (38) ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	学校と社会
兼任	講師	浦野　　愛 (48) ＜令和6年4月＞ 学士（社会福祉学）	生活と防災※
兼任	講師	岡田　公夫 (70) ＜令和6年4月＞ 高等専門学校卒	生活と防災※
兼任	講師	角谷　勝巳 (60) ＜令和7年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	社会保障論B
兼任	講師	兼松　篤子 (43) ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	コンピュータと情報Ⅰ 情報科学と人間A 情報科学と人間B
兼任	講師	上山　晶子 (58) ＜令和8年4月＞ 法学修士	権利擁護を支える法制度
兼任	講師	川上　雅也 (65) ＜令和7年4月＞ 学士（経済学） 学士（社会学）	福祉コミュニティ論
兼任	講師	川瀬　基弘 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	環境の科学
兼任	講師	河野　明日香 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	生涯学習論
兼任	講師	北神慎司 (50) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	知覚・認知心理学
兼任	講師	金　福治 (52) ＜令和7年4月＞ 修士（社会福祉学）	貧困に対する支援
兼任	講師	金　由那 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（ハングルⅡ）
兼任	講師	小久保　嘉紀 (46) ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）	歴史
兼任	講師	小島　一郎 (56) ＜令和7年4月＞ 文学士	社会保障論A
兼任	講師	小林　智 (47) ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	法律学（国際法を含む。）
兼任	講師	鄭　もえ (47) ＜令和6年4月＞ 理学博士	生命の科学 人間環境論
兼任	講師	小林　弘昌 (63) ＜令和7年4月＞ （文学士）	博物館展示論
兼任	講師	清水　克博 (68) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	生徒指導と進路指導
兼任	講師	徐　春陽 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	外国語（中国語Ⅰ） 外国語（中国語Ⅱ）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	CHOTIN　FABRICE ROBERT (59) ＜令和6年4月＞ DEA(言語学、言語教育学)	外国語（フランス語Ⅰ） 外国語（フランス語Ⅱ）
兼任	講師	新宅　勇太 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	博物館概論
兼任	講師	杉谷　健一郎 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	地球の科学 物理の世界
兼任	講師	曽根　敬雄 (46) ＜令和7年4月＞	貧困に対する支援
兼任	講師	滝谷　英幸 (43) ＜令和6年4月＞	法
兼任	講師	瀧崎　優佳 (57) ＜令和6年4月＞ 準学士	ワークキャリアデザイン
兼任	講師	玉木　満 (53) ＜令和6年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	塚原　利理 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（教育）	教育
兼任	講師	塚本　恵信 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	学習・言語心理学
兼任	講師	辻村　大生 (46) ＜令和6年4月＞ 社会学修士	社会学概論
兼任	講師	椿　涼太 (47) ＜令和6年4月＞	物理の世界
兼任	講師	坪木　和久 (61) ＜令和6年4月＞ 理学博士	生活と防災※
兼任	講師	寺澤　陽美 (56) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	洞谷　吉浩 (54) ＜令和6年4月＞ 芸術修士号	芸術 博物館教育論
兼任	講師	中　貴俊 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	長澤　麻央 (36) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	化学の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	CHOTIN　FABRICE ROBERT (59) ＜令和6年4月＞ DEA(言語学、言語教育学)	外国語（フランス語Ⅰ） 外国語（フランス語Ⅱ）
兼任	講師	新宅　勇太 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	博物館概論
兼任	講師	杉谷　健一郎 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	地球の科学 物理の世界
兼任	**講師**	**鈴木　晃 (69) ＜令和6年4月＞ 法学修士**	**日本国憲法**
兼任	講師	曽根　敬雄 (46) ＜令和7年4月＞	貧困に対する支援
兼任	講師	滝谷　英幸 (43) ＜令和6年4月＞	法
兼任	講師	瀧崎　優佳 (57) ＜令和6年4月＞ 準学士	ワークキャリアデザイン
兼任	講師	塚原　利理 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（教育）	教育
兼任	講師	塚本　恵信 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	学習・言語心理学
兼任	講師	辻村　大生 (46) ＜令和6年4月＞ 社会学修士	社会学概論
兼任	講師	椿　涼太 (47) ＜令和6年4月＞	物理の世界
兼任	講師	坪木　和久 (61) ＜令和6年4月＞ 理学博士	生活と防災※
兼任	**講師**	**寺澤　陽美 (56) ＜令和6年4月＞ 文学修士**	**外国語（英語C） 外国語（英語D）**
兼任	講師	洞谷　吉浩 (54) ＜令和6年4月＞ 芸術修士号	芸術 博物館教育論
兼任	講師	中　貴俊 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	長澤　麻央 (36) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	化学の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	CHOTIN　FABRICE ROBERT (60) ＜令和6年4月＞ DEA(言語学、言語教育学)	外国語（フランス語Ⅰ） 外国語（フランス語Ⅱ）
兼任	講師	新宅　勇太 (40) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	博物館概論
兼任	講師	杉谷　健一郎 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	地球の科学 物理の世界
兼任	**講師**	**鈴木　晃 (70) ＜令和6年4月＞ 法学修士**	**日本国憲法**
兼任	講師	瀧崎　優佳 (58) ＜令和6年4月＞ 準学士	ワークキャリアデザイン
兼任	**講師**	**高橋伸行 (61) ＜令和7年4月＞ 農学士**	**物理の世界**
兼任	**講師**	**竹下　昌志 (27) ＜令和7年4月＞ 修士（情報科学）**	**思考のスキル入門**
兼任	講師	塚原　利理 (67) ＜令和6年4月＞ 修士（教育）	教育
兼任	講師	塚本　恵信 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	学習・言語心理学
兼任	講師	辻村　大生 (47) ＜令和6年4月＞ 社会学修士	社会学概論
兼任	講師	坪木　和久 (62) ＜令和6年4月＞ 理学博士	生活と防災※
兼任	**講師**	**寺澤　陽美 (57) ＜令和6年4月＞ 文学修士**	**外国語（英語C） 外国語（英語D）**
兼任	講師	洞谷　吉浩 (55) ＜令和6年4月＞ 芸術修士号	芸術 博物館教育論
兼任	講師	中　貴俊 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	長澤　麻央 (37) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）	化学の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	永峰　康一郎 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	地球の科学
兼任	講師	中村　真奈美 (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（ドイツ語Ⅰ） 外国語（ドイツ語Ⅱ）
兼任	講師	仲山　茂 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）	外国史A 外国史B
兼任	講師	夏目　晶子 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	外国語（中国語Ⅰ） 外国語（中国語Ⅱ）
兼任	講師	西原　麻里 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（メディア学）	文化メディアとジェンダー
兼任	講師	二文字屋　修 (38) ＜令和6年4月＞ 博士（社会人類学）	人類学
兼任	講師	長谷部　浩一 (63) ＜令和7年4月＞ 教育学士	ビジネススキル入門※
兼任	講師	秦野　康子 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	韓　銀暎 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（国際コミュニケーション）	外国語（ハングルⅠ）
兼任	講師	平松　良順 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（歴史学）	博物館資料保存論
兼任	講師	平山　修久 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※
兼任	講師	廣内　大助 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（地理学）	地理学概論
兼任	講師	福井　真二 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	福和　伸夫 (67) ＜令和6年4月＞ 工学博士	生活と防災※
兼任	講師	増田　淳矢 (44) ＜令和6年4月＞	統計の世界
兼任	講師	三宅　英典 (34) ＜令和6年4月＞	発達と学習
兼任	講師	宮下　克子 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（スペイン語Ⅰ） 外国語（スペイン語Ⅱ）
兼任	講師	森　建輔 (40) ＜令和7年4月＞ 学士（地域科学）	福祉サービスの組織と経営＊
兼任	講師	森永　駿 (33) ＜令和6年4月＞	思考のスキル入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	永峰　康一郎 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	地球の科学
兼任	講師	中村　真奈美 (67) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（ドイツ語Ⅰ） 外国語（ドイツ語Ⅱ）
兼任	講師	仲山　茂 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）	外国史A 外国史B
兼任	講師	夏目　晶子 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	外国語（中国語Ⅰ） 外国語（中国語Ⅱ）
兼任	講師	西原　麻里 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（メディア学）	文化メディアとジェンダー
兼任	**講師**	**横戸　南美** **(38)** **＜令和6年4月＞** **博士（理学）**	**人類学**
兼任	講師	二文字屋　修 (38) ＜令和6年4月＞ 博士（社会人類学）	人類学
兼任	講師	長谷部　浩一 (63) ＜令和7年4月＞ 教育学士	ビジネススキル入門※
兼任	講師	秦野　康子 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	韓　銀暎 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（国際コミュニケーション）	外国語（ハングルⅠ）
兼任	講師	平松　良順 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（歴史学）	博物館資料保存論
兼任	講師	平山　修久 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※
兼任	講師	廣内　大助 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（地理学）	地理学概論
兼任	講師	福井　真二 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	福和　伸夫 (67) ＜令和6年4月＞ 工学博士	生活と防災※
兼任	講師	増田　淳矢 (44) ＜令和6年4月＞	統計の世界
兼任	講師	三宅　英典 (34) ＜令和6年4月＞	発達と学習
兼任	講師	宮下　克子 (65) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（スペイン語Ⅰ） 外国語（スペイン語Ⅱ）
兼任	講師	森　建輔 (41) ＜令和7年4月＞ 学士（地域科学）	福祉サービスの組織と経営＊
兼任	講師	森永　駿 (33) ＜令和6年4月＞	思考のスキル入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	永峰　康一郎 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	地球の科学
兼任	講師	中村　真奈美 (68) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（ドイツ語Ⅰ） 外国語（ドイツ語Ⅱ）
兼任	講師	仲山　茂 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）	外国史A 外国史B
兼任	講師	夏目　晶子 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	外国語（中国語Ⅰ） 外国語（中国語Ⅱ）
兼任	講師	西原　麻里 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（メディア学）	文化メディアとジェンダー
兼任	**講師**	**横戸　南美** **(39)** **＜令和6年4月＞** **博士（理学）**	**人類学**
兼任	講師	二文字屋　修 (39) ＜令和6年4月＞ 博士（社会人類学）	人類学
兼任	講師	長谷部　浩一 (64) ＜令和7年4月＞ 教育学士	ビジネススキル入門※
兼任	講師	秦野　康子 (67) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	外国語（英語A） 外国語（英語B） 外国語（英語C） 外国語（英語D）
兼任	講師	韓　銀暎 (45) ＜令和6年4月＞ 修士（国際コミュニケーション）	外国語（ハングルⅠ）
兼任	講師	平松　良順 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（歴史学）	博物館資料保存論
兼任	講師	平山　修久 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	生活と防災※
兼任	講師	廣内　大助 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（地理学）	地理学概論
兼任	講師	福井　真二 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	コンピュータと情報Ⅰ
兼任	講師	福和　伸夫 (68) ＜令和6年4月＞ 工学博士	生活と防災※
兼任	講師	宮下　克子 (66) ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（スペイン語Ⅰ） 外国語（スペイン語Ⅱ）
兼任	講師	森　建輔 (42) ＜令和7年4月＞ 学士（地域科学）	福祉サービスの組織と経営＊

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	山口　佐和子 （61） ＜令和6年4月＞	ジェンダー論入門
兼任	講師	山村　比鶴 （39） ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（ドイツ語Ⅰ） 外国語（ドイツ語Ⅱ）
兼任	講師	山本　晴奈 （35） ＜令和6年4月＞ 修士（地理学）	地誌
兼任	講師	横地　香代子 （52） ＜令和8年4月＞ 臨床心理学修士	教育相談

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**安原　功** **（61）** **＜令和6年4月＞** **論文博士（歴史学）**	**日本史Ａ** **日本史Ｂ**
兼任	講師	山村　比鶴 （39） ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（ドイツ語Ⅰ） 外国語（ドイツ語Ⅱ）
兼任	講師	山本　晴奈 （36） ＜令和6年4月＞ 修士（地理学）	地誌
兼任	講師	横地　香代子 （53） ＜令和8年4月＞ 臨床心理学修士	教育相談

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**安原　功** **（62）** **＜令和6年4月＞** **論文博士（歴史学）**	**日本史Ａ** **日本史Ｂ**
兼任	講師	山村　比鶴 （40） ＜令和6年4月＞ 文学修士	外国語（ドイツ語Ⅰ） 外国語（ドイツ語Ⅱ）
兼任	講師	山本　晴奈 （37） ＜令和6年4月＞ 修士（地理学）	地誌
兼任	講師	横地　香代子 （53） ＜令和8年4月＞ 臨床心理学修士	教育相談

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和４年度開設であれば令和３年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和６年度】

・大木直子講師職位変更（講師→准教授）
・担当者変更により、「文学」戸田由紀子（兼担）から飯塚恵理人（兼担）へ変更
・担当者変更により、「人間論」大木直子（専）から大勝志津穂（専）へ変更
・教職課程認定申請の都合により、「教職論」虎岩朋加（専）から廣瀬帆曜（兼担）へ変更
・担当者変更により、「人類学」五百部裕（兼担）から橋戸南美（兼任）へ変更
・担当者変更により、「生命の科学」五百部裕（兼担）から福田誠司（兼担）、郷もえ（兼任）
・担当者変更により、「ジェンダー論入門」山口佐和子（兼務）から天野諭（兼務）へ変更
・担当者変更により、「日本史Ａ」「日本史Ｂ」稲垣知子（兼任）から安原功（兼任）へ変更
・担当者変更により、「日本国憲法」玉木満（兼務）から鈴木晃（兼務）へ変更
・赤星泰子（兼務）の担当科目を「外国語（英語Ａ）」「外国語（英語B）」に変更（２科目減）
・寺澤陽美（兼務）の担当科目を「外国語（英語C）」「外国語（英語D）」に変更（２科目減）

【令和７年度】

・担当者変更により、「人間論」大勝志津穂（専）から大木直子（専）へ変更
・担当者変更により、「基礎演習Ｂ」吉田あけみ（専）から虎岩朋和（専）へ変更
・担当者変更により、「教育」藤原直子（専）から井川和道（兼任）へ変更
・担当者変更により、「キャリア形成実習Ⅰ」「キャリア形成実習Ⅱ」吉田あけみ（専）から長澤唯史（兼担）へ変更
・田村禎章助教（専）の退職により、後任山田敏恵助教（専）就任、「ソーシャルワーク論Ⅰ」「ソーシャルワーク論Ⅱ」を担当
・担当者変更により、「健康とスポーツの理論※」早川幸博（兼担）、肥田佳美（兼担）から、石原由華（兼担）、林和枝（兼担）へ変更
・担当者変更により、「健康科学」を國井修一（兼担）から、佐藤善人（兼担）へ変更
・担当者変更により、「発達と学習」を三宅英典（兼務）から、浦上萌（兼担）へ変更
・栃窪優二（兼担）職名変更（教授→特任教授）
・木田勇輔、布井雅人、冨田和子の専任・兼担・兼任区別変更（兼担→兼任）
・担当者の変更により、「知覚・認知心理学」布井雅人（兼任）から北神慎司（兼任）へ変更
・担当者変更により、「ＡＩ・データと社会」を塩澤友樹（兼担）から布井雅人（兼担）へ変更
・担当者の変更により、「発達心理学」中西由里（兼担）から宮坂まみ（兼担）へ変更
・担当者の変更により、「統計の世界」を増田淳矢（兼任）から松嶋そら（兼担）へ変更
・担当者の変更により、「法」を滝谷英幸（兼任）榎本雅記（兼任）から三島ひとみ（兼担）へ変更
・担当者の変更により、「博物館展示論」を久保禎子（兼任）から小林弘昌（兼任）へ変更
・担当者の変更により、「思考のスキル入門」を森永駿（兼任）から竹下昌志（兼任）へ変更
・担当者の変更により、「物理の世界」を椿涼太（兼任）から高橋伸行（兼任）へ変更
・担当者の変更により、「貧困に対する支援」を曽根敬雄（兼任）から金碩浩（兼任）へ変更
・郷もえ（兼務）の担当科目に「人間環境論」を追加

(注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください
・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（注）・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
6 (7)	2 (3)	3 (2)	0 0	11 (12)	0 (0)	7	3	2	0	12	0
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
6 [0]	3 [1]	2 [△1]	0 [0]	11 [0]	0 [0]	6 [0]	3 [1]	2 [△1]	0 [0]	11 [0]	0 [0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	1 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{11}{11} = 100\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{12} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = -\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由

合計（D）				後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	田村 禎章	R6.9	選択	ソーシャルワーク論Ⅰ	①	R6.8.31付退職のため辞任（7）
				選択	ソーシャルワーク論Ⅱ	①	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{11} = 9.09\%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤ 令和６年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注)・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和７年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

R6年度前期を以て当初担当予定の教員が退職することが明らかになった段階で、R7年度以降の後任人事を進めるとともに、担当者が交代することについて受講生を集めて対応について事前説明を行った。
担当不在となった後期開講の「ソーシャルワーク論Ⅱ」は、同じ社会福祉士分野を専門とする別の専任教員が一時的に担当することで対応した。
R7年度後任人事は年度内に専任教員（助教）の雇用が決定し、シラバスや時間割についても後任教員の氏名が入ったもので学生にあらかじめ周知することができた。いずれも事前の案内が適切に行われており、学生にとって不利益のないよう対応ができた。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
届出時	該当なし				
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和６年度）	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	人間共生学科では、アドミッションポリシーを踏まえた入学者選抜を実施した。設置認可後、積極的な入学広報活動に努めたが、志願者確保が十分でなく、初年度においては設置計画時の入学者を確保することができなかった。 初年度の入学者確保の課題の改善を図り、次年度以降は入学志願者の確保と定員の充足に努めるとともに、完成年度までの入学者数等の推移を見極めつつ、適切な収容定員及び入学定員の設定について継続して検討する。（７）	履行中	初年度は、学科の特色や教育内容等が高校生等に十分に浸透せず、定員を確保することができなかった。この結果を受け、改めて高校訪問やオープンキャンパス等を通じた学生募集の強化に取り組むとともに、学科の特色や入学後の学び、卒業後の進路イメージの向上に関する説明を積極的に行う。また、総合型選抜入試においては、ワークショップ体験型を導入するなど、学生募集活動を強化し、継続的に定員を確保できるよう努める。（７）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和６年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和６年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和７年度から新たに調査対象となった学科等又は令和６年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜人間関係学部　人間共生学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

相山女学園大学全学ＦＤ委員会　（規準添付）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和6年度＞
第1回：令和6年4月23日（火）、出席委員7名
第2回：令和6年5月28日（火）、出席委員8名
第3回：令和6年6月25日（火）～6月29日（土）メール会議、出席委員8名
第4回：令和6年7月23日（火）、出席委員7名
第5回：令和6年9月24日（火）～9月30日（月）メール会議、出席委員8名
第6回：令和6年10月22日（火）メール会議、出席委員8名
第7回：令和6年11月26日（火）、出席委員8名
第8回：令和7年1月28日（火）～2月1日（土）メール会議、出席委員8名
第9回：令和7年3月21日（金）メール会議、出席委員8名
＜令和7年度＞
第1回：令和7年4月23日（火）、出席委員7名

ｃ　委員会の審議事項等

＜令和6年度（審議事項のみ抜粋）＞
第1回：(1)2024年度ＦＤ活動に関する件
(2)2024年度前期学生ＦＤスタッフ申請に関する件
第2回：(1)2024年度前期学生ＦＤスタッフ申請に関する件
(2)2024年度後期学生ＦＤスタッフ募集要項に関する件
(3)2024年度ＦＤ研修会に関する件
第3回：(1)2024年度ＦＤ研修会に関する件
(2)2024年度前期授業アンケートリフレクションに関する件
第4回：(1)2024年度後期学生ＦＤスタッフ申請に関する件
(2)2024年度ＦＤ事業推進予算に関する件
(3)2024年度後期授業アンケート実施要領等に関する件
第5回：(1)2024年度シラバス項目に関する件
(2)2024年度ＦＤ事業推進予算に関する件
第6回：（報告事項のみ）
第7回：(1)2024年度後期授業アンケートリフレクションに関する件
(2)2024年度「今年度の振り返り」と「来年度の目標」に関する件
(3)2024年度ＦＤ活動報告書に関する件
第8回：(1)2024年度ＦＤ活動の検証と2025年度の計画に関する件
(2)2024年度前期学生ＦＤスタッフ募集に関する件
第9回：（報告事項のみ）
＜令和7年度＞
第1回：(1)2025年度ＦＤ活動に関する件

②　実施状況（令和6年度）

〇専任教員の自己点検

ａ　実施内容：令和6年12月11日（火）～令和7年3月10日（月）
教員各自が自身の教育・研究活動について振り返り、次年度の目標を設定する。

ｂ　実施方法：Web入力し、公開可の教員の内容は学内公開

ｃ　実施状況（教員の参加状況含む）：教員98名

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：

お互いの教員の活動状況を共有することで、各教員の持つ「教育」「研究」の専門性や特徴を再発見する資料とした。

〇新任教員研修（学内）

a　実施内容：令和6年4月

b　実施方法：学部ごとに策定された新任教員研修プログラムにより実施

c　実施状況（教員の参加状況含む）：25名（助手および学部改組に伴う異動教員含む）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：

各学部学科の教育理念・特色、３つのポリシー、カリキュラム、学術研究倫理憲章等について説明した。

〇新任教員研修（学外）

a　実施内容：①令和6年9月19日（木）18:30～20:30　　②令和6年10月17日（木）18:30～20:30

③令和6年9月3日（火）～令和7年3月31日（月）オンデマンド動画視聴

公益財団法人大学コンソーシアム京都主催「ＦＤ合同研修プログラム・テーマ別研修」に参加

b　実施方法：①②Zoomでのオンライン開催　　③オンデマンド配信

c　開催状況（教員の参加状況含む）：生活科学部助教2名、外国語学部講師2名、情報社会学部講師1名、

現代マネジメント学部准教授1名・講師2 名、教育学部講師1名

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：

参加教員は報告書を作成し、各人の授業改善に活かした。

〇ＦＤ研修会①

a　実施内容：

・日時：令和6年9月3日（火）　10:30～11:30

・テーマ：「Sugi-PORTの活用について」

・講師：株式会社SIGEL

b　実施方法：Zoomでのオンライン開催

c　開催状況（教員の参加状況含む）：237名（ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ視聴を含む。）（教員170 名、助手24名、事務職員等43名）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：

ポートフォリオ機能を備えた学修成果可視化システムを活用し、学生とともに振り返りを行い

学生指導や授業改善に反映させている。

〇学生ＦＤスタッフの活用

a　実施内容：授業へのアクティブ・ラーニング導入を支援するため、アクティブ・ラーニングを用いた授業を

実施するための学生補助が必要な際の予算を措置した。

b　実施方法：令和6年度授業科目内で、学生ＦＤスタッフが授業補助

c　実施状況：前期2件（教育学部学生2名）、後期3件（生活科学部学生のべ21名）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況：

アクティブラーニングやICT活用による授業改善、質の向上に取り組んだ。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

＜前期＞実施期間：（1/4期科目）令和6年5月22日（水）～6月5日（水）

（半期科目）　令和6年7月16日（火）～7月31日（水）

実施科目数：687科目

＜後期＞実施期間：（1/4期科目）令和6年11月11日（月）～11月22日（金）

（半期科目）　令和7年1月6日（月）～1月25日（土）

実施科目数：605科目

b　教員や学生への公開状況、方法等

・結果の概要については、大学ホームページで公開

・授業科目ごとの結果と、結果に対するリフレクション（教員コメント）は、学内教務システムで公開

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間共生学科は、人間の多様性及び共生社会における包摂性について、広範な知識、総合的な判断力及び深い洞察力を有し、多様な他者との共生に向け価値を創造し行動する人材の養成を目的とする。そのために、ジェンダー・女性学、社会福祉学、人間学を軸とした人間の多様性に関する学際的な知見をもとに、人間の多様性と共生社会における幅広く深い知識と理解、人と関わり、他者を理解する力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、多様な他者との共生に関わる諸問題を発見し、解決しようとする態度、共生社会において創造力、批判的思考力、実践力をもって人と関わる力を修得させる教育を展開している。
初年次教育では、新入生オリエンテーションにおいて、教育課程や履修方法の説明を行うほか、学生自身の学修テーマにあわせ計画的に履修を進められるよう時間割作成のワークシートを用い、履修指導を行った。1年次では、学部共通科目である「人間関係論A」「人間関係論B」、学科共通科目として人間の多様性と共生社会における包摂性に関わる多様なテーマに焦点を当てた「人間共生の諸相Ａ」などを必修としている。また、1年次のカリキュラムは、ジェンダー・女性学、社会福祉学、人間学に関する基礎的な学科専門科目を中心に編成されており、時間割等の配置についても総じて適切と考えられる。
また、4月に実施した学修成果可視化の結果に基づき、学修・生活指導教員が面談を行い、DP達成に向けた授業履修など、学修面での助言を行い、学生が段階的に目的達成に向けて学びを進められるよう支援した。
今後も本学科の目的を実現するため、教学マネジメントの方向性を再確認し、内部質保証のシステムの中で自己点検・活動を通じて明らかになる課題に対し、不断の改善を図りつつ、学年進行に応じた設置計画を確実に履行していくこととする。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

2020 年度の公益財団法人大学基準協会による認証評価（大学評価）を受審し、適合の認定を受けた。改組学部学科の活動も含めて、毎年度の活動を点検・評価し、自己点検評価書により報告している。

最新内容は（2024年度　自己点検評価書（大学年報－第26号）令和7年3月公表

ｂ 公表方法

・大学ホームページ上に公開（https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/about/valuation/index.html）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

内部質保証組織のシステムを整え、第４期の認証評価に向けて2027年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和６年度）

ａ 公表予定の有無 〔 有 〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 〕

ｃ 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ 公表しない理由 〔 － 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

椙山女学園大学全学ＦＤ委員会規準

平成１２年大規準第４号
平成１２年５月１６日制定

（趣旨）
第１条　この規準は、椙山女学園大学におけるファカルティ・ディベロップメント（Faculty　Development）に関する事項を円滑かつ有効に推進するために設置する全学ＦＤ委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定める。
（審議事項）
第２条　委員会は、前条の趣旨を実現するため、ファカルティ・ディベロップメントに関する次の各号に掲げる業務を行う。
(1)　企画・立案に関する事項
(2)　必要な研究調査に関する事項
(3)　学部間の連繋及び調整に関する事項
(4)　研究会、講演会及び教員研修等に関する事項
(5)　大学間の連携等に関する事項
(6)　その他、学長が特に必要と認める事項
（委員会）
第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。
(1)　学長が指名する副学長
(2)　各学部のＦＤ委員会の委員　各１名
２　前項の規定にかかわらず、学長が必要と認める者を、委員に加えることができる。
３　第１項第２号及び前項の委員の任期は、１年とし、再任を妨げない。
４　第１項第２号の委員に欠員が生じた場合には、その都度委員を補充しなければならない。この場合において、補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。
５　委員会に、委員長を置き、委員長は副学長をもって充てる。
（会議）
第４条　委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。
２　会議は、各学部１名以上の委員を含む委員の過半数の出席により成立する。
３　会議には、議長が必要と認めた場合、委員以外の者を陪席させることができる。
（庶務）
第５条　委員会の庶務は、教務課において処理する。
（学部委員会）
第６条　各学部に学部ＦＤ委員会を設置するものとする。
２　前項の学部ＦＤ委員会の構成、委員長の選任方法及び委員の任期については、当該学部の教授会において定める。
（規準の改廃）
第７条　この規準の改廃は、委員会が発議し、大学協議会の議を経て学長が決する。

附　則
この規準は、平成１２年５月１６日から施行する。
附　則（平成１９年大規準第８号）
この規準は、平成１９年９月１日から施行する。
附　則（平成２１年大規準第４号）
この規準は、平成２１年４月１日から施行する。
附　則（平成２２年大規準第９号）
この規準は、平成２２年４月１日から施行する。
附　則（令和５年大規準第６号）
１　この規準は、令和５年５月１６日から施行する。
２　この規準の施行の際現に委員である者の任期は、令和６年３月３１日までとし、再任を妨げない。
附　則（令和７年大規準第１号）
この規準は、令和７年４月１日から施行する。